

第46期末（2026年2月10日）

基準価額 11,876円

純資産総額 237億円

第41期～第46期 （2025年8月13日～2026年2月10日）

騰落率 14.5%

分配金合計 1,800円

(注) 騰落率は分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

ニッセイ・ メタバースワールド (予想分配金提示型)

追加型投信／内外／株式

運用報告書(全体版)

作成対象期間：2025年8月13日～2026年2月10日

第41期(決算日2025年9月10日) 第44期(決算日2025年12月10日)
第42期(決算日2025年10月10日) 第45期(決算日2026年1月13日)
第43期(決算日2025年11月10日) 第46期(決算日2026年2月10日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ・メタバースワールド（予想分配金提示型）」は、このたび第46期の決算を行いました。

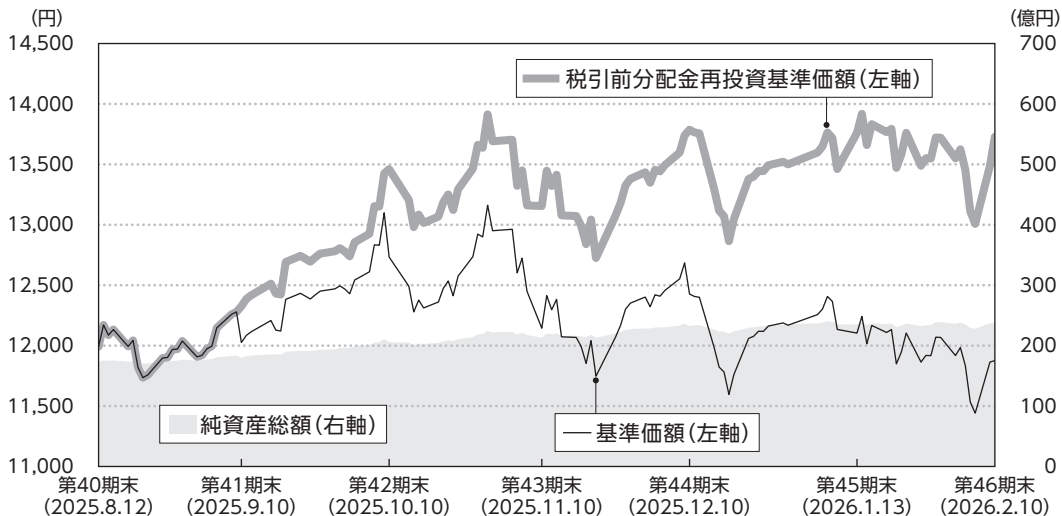
当ファンドは、「ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド」受益証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式のなかから、「メタバース」に関連する事業を展開する企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用経過

2025年8月13日～2026年2月10日

基準価額等の推移



第41期首	11,992円	既払分配金	1,800円
第46期末	11,876円	騰落率 (分配金再投資ベース)	14.5%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 8月下旬から10月上旬にかけて、米国での利下げ再開や人工知能(AI)・データセンター関連の巨額契約を受けて関連銘柄の株価が上昇したこと
- ・ 10月以降、日本の拡張的な財政政策への警戒感などから米ドル高円安となったこと
- ・ 11月下旬から12月上旬にかけて、AI技術をけん引する米半導体企業の良好な業績発表や米インターネット企業大手の最新生成AIモデルの公開に対する好意的な評価を受けて株価が上昇したこと
- ・ 12月下旬から1月下旬にかけて、米追加利下げ継続への期待感が高まったことや、半導体メモリーの価格上昇を受けた半導体関連銘柄への物色から株価が上昇したこと

<下落要因>

- ・ 8月中旬にAI技術をけん引する米半導体企業の業績発表が市場予想の範囲内であり、それまでの株価上昇で高値警戒感もあったことなどから関連銘柄の株価が下落したこと
- ・ 11月上旬から中旬にかけて、AIへの過剰投資を巡る見方でハイテク株への高値警戒感が台頭したことや、米追加利下げ観測の一時後退を受けて株価が下落したこと
- ・ 12月中旬に米ソフトウェア大手の失望的な業績やAI関連での巨額投資へのリスクが嫌気されたことを受けて株価が下落したこと

1万口当たりの費用明細

項目	第41期～第46期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	116円	0.946%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は12,229円です。
(投信会社)	(60)	(0.493)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(54)	(0.439)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(2)	(0.014)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	0	0.004	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株式)	(0)	(0.004)	売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	0	0.001	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	(0)	(0.001)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	1	0.008	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.006)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
合計	117	0.959	

(注1) 作成中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

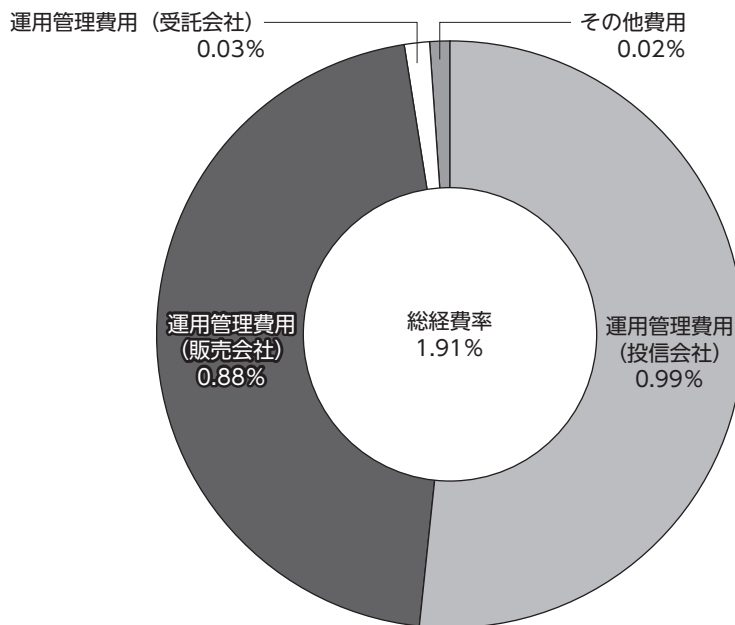
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.91%**です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

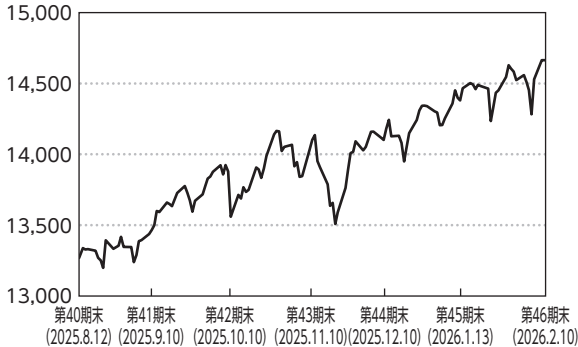
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

投資環境

株式市況

【MSCIワールド・インデックス
（配当込み、米ドルベース）の推移】

(注) FactSetのデータを使用しています。

株式市場は当作成期を通じて見ると上昇しました。当作成期初以降、株価の高値警戒感がくすぶりながらも、米国におけるインフレの落ち着きや利下げ再開と年内の継続的な追加利下げ観測の高まりが好感されたこと、米中首脳会談の実施を受け米中対立の激化懸念が後退したことなどから上昇する展開となりました。特に、AI関連銘柄の物色継続がけん引するかたちとなりました。その後、AI投資の過熱感と米利下げ観測を巡る見方で株価は揺れ動く場面があったものの、米国におけるインフレの落ち着きや消費者センチメント（市場心理）の低下などから米利下げ継続への期待感が高まったことや、米インターネット企業大手の最新生成AIモデルの公開に対する好意的な評価から持ち直す展開となりました。年明け以降は、トランプ米政権によるベネズエラへの軍事介入や、デンマーク自治領であるグリーンランドの領有権を巡る米欧対立など地政学リスクは上昇したものの、AI関連のインフラ需要などから銀や銅などの商品市況の上昇が続いたことに加え、AI関連の半導体企業による良好な業績発表も追い風となり株価は上昇基調となりました。

為替市況

【米ドル/円レートの推移】



(注) 対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

米ドル/円相場は、当作成期を通じて見ると米ドル高円安となりました。当作成期初以降、レンジ圏での推移となりましたが、10月以降は高市新政権の拡張的な財政政策への警戒感や日銀が追加利上げを実施したものの金融引き締めへ慎重な姿勢との見方などから、米ドル高円安基調が続きました。1月には日米協調による為替介入への警戒感から米ドル安円高に一時転じたものの、日本における衆議院解散総選挙での拡張的な財政政策が加速するとの懸念などから、再び米ドル高円安となりました。

ポートフォリオ

■当ファンド

マザーファンド受益証券の組み入れを高位に保った運用を行いました（ただし、当ファンドから信託報酬等の費用を控除する関係などから、当ファンドの収益率はマザーファンドとは必ずしも一致しません）。

■マザーファンド

日本を含む各国の株式のなかから、「メタバース」に関連する事業を展開する企業の株式を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

当作成期末における業種配分は、組入比率の高い順に情報技術（71.3%）、コミュニケーション・サービス（19.5%）、一般消費財・サービス（3.2%）としています。

当作成期末における国・地域別配分は、組入比率の高い順にアメリカ（82.6%）、台湾（3.3%）、オランダ（2.4%）としています。

(注1) メタバースとはメタ（meta：超越）とユニバース（universe：世界）を組み合わせた造語で、通信ネットワーク上に構築された仮想空間やそのサービスのことをさします。参加者はアバターと呼ばれる自分の分身を操作して、仮想空間内でさまざまな活動を行うことができます。

(注2) 業種はGICS分類（セクター）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

(注3) 比率は対純資産総額比です。

(注4) 国・地域はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ベンチマークとの差異

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式のなかから、「メタバース」に関連する事業を展開する企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

分配金

当作成期の分配金は、各決算日の前営業日の基準価額に応じ、当運用報告書「当ファンドの概要」分配方針などから基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第41期	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期
	2025年8月13日 ～ 2025年9月10日	2025年9月11日 ～ 2025年10月10日	2025年10月11日 ～ 2025年11月10日	2025年11月11日 ～ 2025年12月10日	2025年12月11日 ～ 2026年1月13日	2026年1月14日 ～ 2026年2月10日
当期分配金（税引前）	300円	400円	300円	300円	300円	200円
対基準価額比率	2.43%	3.05%	2.41%	2.36%	2.42%	1.66%
当期の収益	300円	400円	－	300円	－	－
当期の収益以外	－	－	300円	－	300円	200円
翌期繰越分配対象額	3,555円	4,229円	3,929円	3,944円	3,645円	3,445円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■当ファンド

マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式のなかから、「メタバース」に関連する事業を展開する企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

■マザーファンド

当マザーファンドは長期的な視点で、今後、大きな成長が期待される「メタバース」に関連する技術、コンテンツ展開力、市場アクセス等に強みを持つ企業へ投資を行っています。投資にあたっては「メタバース」関連の技術やコンテンツ等において企業として競争優位性を持っているかを分析したうえで、今後、中長期的な業績成長シナリオを達成できると見込まれる企業への投資を行っています。

「メタバース」はこれから成長する技術でもあり、多くの技術やコンテンツ等は比較的新しい中小の企業が持っていることも事実です。このため、当マザーファンドでは時価総額などで規模の小さい企業群への投資がやや多くなる傾向にあります。「今後、これらの中小規模の企業が大きく業績成長することを期待して投資を行っている」とご理解いただけますと幸いです。銘柄選別にあたっては「メタバース」をキーワードとした業績成長シナリオを想定しており、経営陣が確かな執行能力を持つと思われる企業の中から、長期的な成長力を重視して選択しています。同時に株価バリュエーション（企業の利益・資産など、本来の企業価値と比較して、相対的な株価の割高・割安を判断する指標）を考慮し、相対的にバリュエーションが高すぎる銘柄を排除するなど、慎重な銘柄選択を実施しています。今後も、「メタバース」をキーワードに長期的な成長を達成し、同時に企業価値を向上することができる銘柄への投資を進めていきたいと考えています。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド

	第46期末 2026年2月10日
ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド	95.6%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

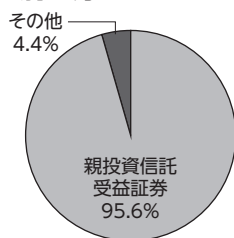
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

純資産等

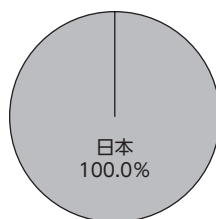
項目	第41期末 2025年9月10日	第42期末 2025年10月10日	第43期末 2025年11月10日	第44期末 2025年12月10日	第45期末 2026年1月13日	第46期末 2026年2月10日
純資産総額	17,969,550,216円	20,579,132,916円	21,304,333,089円	23,226,904,750円	23,489,221,819円	23,721,983,054円
受益権総口数	14,941,655,536口	16,162,429,950口	17,543,116,232口	18,690,986,418口	19,406,620,952口	19,975,075,029口
1万口当たり基準価額	12,026円	12,733円	12,144円	12,427円	12,104円	11,876円

(注) 当作成期間（第41期～第46期）中における追加設定元本額は7,240,987,835円、同解約元本額は1,642,215,632円です。

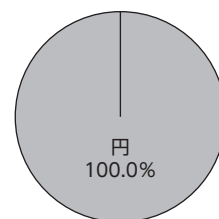
資産別配分



国別配分



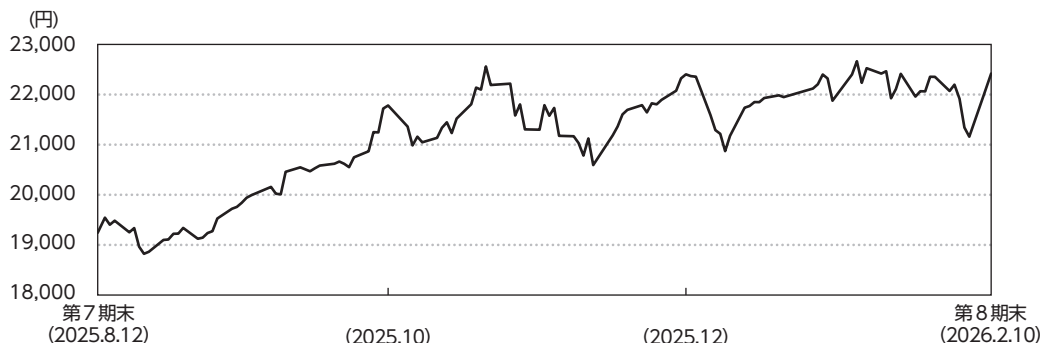
通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2026年2月10日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ・メタバースワールドマザーファンドの概要

■基準価額の推移



■上位銘柄

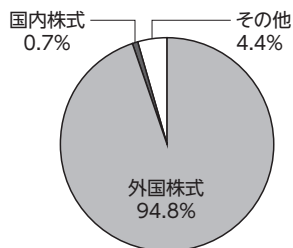
銘柄名	通貨	比率
NVIDIA CORP	米ドル	8.6%
BROADCOM INC	米ドル	8.1
META PLATFORMS INC-A	米ドル	7.0
CIENA CORP	米ドル	5.8
TERADYNE INC	米ドル	5.1
ARISTA NETWORKS INC	米ドル	5.0
APPLIED MATERIALS INC	米ドル	4.7
ALPHABET INC-CL A	米ドル	3.6
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	米ドル	3.3
ROBLOX CORP -CLASS A	米ドル	3.1
組入銘柄数		44

■1万口当たりの費用明細

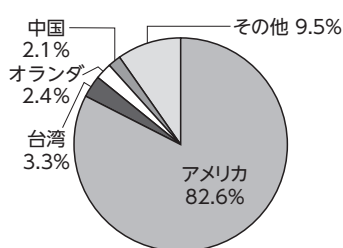
2025.8.13~2026.2.10

項目	金額
売買委託手数料 (株式)	1円 (1)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用)	1 (1)
合計	2

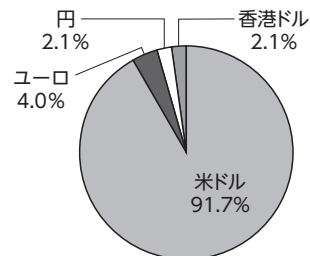
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2026年2月10日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考)	株式 組入比率	純資産 総額
				基準価額+ 累計分配金		
	円	円	%	円	%	百万円
17期(2023年 9月11日)	10,599	0	2.3	10,599	96.1	4,429
18期(2023年10月10日)	10,628	0	0.3	10,628	94.3	4,427
19期(2023年11月10日)	10,917	200	4.6	11,117	96.9	4,369
20期(2023年12月11日)	10,843	200	1.2	11,243	97.4	4,235
21期(2024年 1月10日)	10,989	200	3.2	11,589	95.4	4,402
22期(2024年 2月13日)	12,371	300	15.3	13,271	96.4	5,010
23期(2024年 3月11日)	12,170	300	0.8	13,370	91.2	5,291
24期(2024年 4月10日)	12,269	300	3.3	13,769	94.6	5,983
25期(2024年 5月10日)	12,040	300	0.6	13,840	94.1	6,604
26期(2024年 6月10日)	12,644	300	7.5	14,744	91.3	8,243
27期(2024年 7月10日)	13,477	400	9.8	15,977	91.9	10,461
28期(2024年 8月13日)	10,967	200	△17.1	13,667	90.8	9,805
29期(2024年 9月10日)	10,482	100	△ 3.5	13,282	88.1	9,841
30期(2024年10月10日)	11,761	200	14.1	14,761	92.0	11,352
31期(2024年11月11日)	11,999	300	4.6	15,299	91.3	12,207
32期(2024年12月10日)	11,812	200	0.1	15,312	87.9	13,135
33期(2025年 1月10日)	12,197	300	5.8	15,997	94.2	14,271
34期(2025年 2月10日)	11,594	200	△ 3.3	15,594	91.9	15,016
35期(2025年 3月10日)	10,259	0	△11.5	14,259	92.5	14,270
36期(2025年 4月10日)	9,556	0	△ 6.9	13,556	89.3	13,718
37期(2025年 5月12日)	10,167	0	6.4	14,167	91.2	14,665
38期(2025年 6月10日)	10,917	200	9.3	15,117	93.8	15,606
39期(2025年 7月10日)	11,537	200	7.5	15,937	92.7	16,179
40期(2025年 8月12日)	11,992	300	6.5	16,692	92.1	17,239
41期(2025年 9月10日)	12,026	300	2.8	17,026	92.1	17,969
42期(2025年10月10日)	12,733	400	9.2	18,133	93.1	20,579
43期(2025年11月10日)	12,144	300	△ 2.3	17,844	89.3	21,304
44期(2025年12月10日)	12,427	300	4.8	18,427	91.9	23,226
45期(2026年 1月13日)	12,104	300	△ 0.2	18,404	93.2	23,489
46期(2026年 2月10日)	11,876	200	△ 0.2	18,376	91.3	23,721

(注1) 基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額(分配落)に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 株式組入比率には新株予約権証券を含みます。以下同じです。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注5) 作成期とは運用報告書を作成する期間をいい、上表の網掛け部分が当作成期です。以下同じです。

当作成期中の基準価額と市況等の推移

	年月日	基準価額	騰落率		株式 組入比率
第 41 期	(期首)	円		%	%
	2025年8月12日	11,992		—	92.1
	8月末	12,038		0.4	91.5
	(期末)				
第 42 期	2025年9月10日	12,326		2.8	92.1
	(期首)				
	2025年9月10日	12,026		—	92.1
	9月末	12,495		3.9	92.2
第 43 期	(期末)				
	2025年10月10日	13,133		9.2	93.1
	(期首)				
	2025年10月10日	12,733		—	93.1
第 44 期	10月末	12,951		1.7	89.9
	(期末)				
	2025年11月10日	12,444		△2.3	89.3
	(期首)				
第 45 期	2025年11月10日	12,144		—	89.3
	11月末	12,352		1.7	88.4
	(期末)				
	2025年12月10日	12,727		4.8	91.9
第 46 期	(期首)				
	2025年12月10日	12,427		—	91.9
	12月末	12,169		△2.1	92.0
	(期末)				
第 47 期	2026年1月13日	12,404		△0.2	93.2
	(期首)				
	2026年1月13日	12,104		—	93.2
	1月末	12,068		△0.3	92.5
第 48 期	(期末)				
	2026年2月10日	12,076		△0.2	91.3

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2025年8月13日～2026年2月10日

	第41期～第46期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド	4,514,004	9,569,554	2,952,771	6,306,266

(注) 単位未満は切り捨てています。

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	第41期～第46期
	ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド
(a) 作成期中の株式売買金額	3,791,494千円
(b) 作成期中の平均組入株式時価総額	28,155,497千円
(c) 売買高比率(a)／(b)	0.13

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注2) 外国株式の(a)は各月末（作成期末の属する月については作成期末）、(b)は各月末の国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注3) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2025年8月13日～2026年2月10日

当作成期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2026年2月10日現在

種類	第40期末	第46期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド	8,552,174	10,113,407	22,672,237

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当作成期末におけるニッセイ・メタバースワールドマザーファンド全体の口数は14,274,569千口です。

投資信託財産の構成

2026年2月10日現在

項目	第46期末	
	評価額	比率
	千円	%
ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド	22,672,237	93.8
コール・ローン等、その他	1,497,737	6.2
投資信託財産総額	24,169,974	100.0

(注1) 外貨建資産は、当作成期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお2月10日における邦貨換算レートは、1米ドル156.17円、1香港ドル19.98円、1ユーロ185.84円です。

(注2) ニッセイ・メタバースワールドマザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（31,317,941千円）の投資信託財産総額（32,837,658千円）に対する比率は95.4%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

項目	(2025年9月10日)	(2025年10月10日)	(2025年11月10日)	(2025年12月10日)	(2026年1月13日)	(2026年2月10日)現在
	第41期末	第42期末	第43期末	第44期末	第45期末	第46期末
(A)資産	18,526,465,779円	21,299,832,581円	21,949,398,423円	23,860,197,670円	24,175,668,621円	24,169,974,980円
産						
コール・ローン等	676,971,996	681,882,375	683,532,288	683,583,020	688,606,295	683,165,034
ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド(評価額)	17,320,361,300	19,935,667,550	20,492,458,177	22,391,915,618	22,646,682,076	22,672,237,630
未収入金	529,132,483	682,282,656	773,407,958	784,699,032	840,380,250	814,572,316
(B)負債	556,915,563	720,699,665	645,065,334	633,292,920	686,446,802	447,991,926
債						
未払収益分配金	448,249,666	646,497,198	526,293,486	560,729,592	582,198,628	399,501,500
未払解約金	82,112,428	44,116,054	84,465,105	37,813,156	63,070,780	14,186,251
未払信託報酬	26,472,001	29,996,075	34,205,956	34,649,045	41,058,633	34,205,462
その他未払費用	81,468	90,338	100,787	101,127	118,761	98,713
(C)純資産総額(A-B)	17,969,550,216	20,579,132,916	21,304,333,089	23,226,904,750	23,489,221,819	23,721,983,054
元本	14,941,655,536	16,162,429,950	17,543,116,232	18,690,986,418	19,406,620,952	19,975,075,029
次期繰越損益金	3,027,894,680	4,416,702,966	3,761,216,857	4,535,918,332	4,082,600,867	3,746,908,025
(D)受益権総口数	14,941,655,536口	16,162,429,950口	17,543,116,232口	18,690,986,418口	19,406,620,952口	19,975,075,029口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,026円	12,733円	12,144円	12,427円	12,104円	11,876円

(注) 当作成期首元本額 14,376,302,826円
 当作成期中追加設定元本額 7,240,987,835円
 当作成期中一部解約元本額 1,642,215,632円

損益の状況

(第41期 2025年8月13日～2025年9月10日) (第44期 2025年11月11日～2025年12月10日)
 (第42期 2025年9月11日～2025年10月10日) (第45期 2025年12月11日～2026年1月13日)
 (第43期 2025年10月11日～2025年11月10日) (第46期 2026年1月14日～2026年2月10日)

項目	第41期	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期
(A)配当等収益	234,489円	242,922円	250,788円	239,767円	373,099円	348,443円
受取利息	234,489	242,922	250,788	239,767	373,099	348,443
(B)有価証券売買損益	525,439,378	1,764,278,130	△ 462,243,452	1,113,590,531	21,351,463	△ 8,539,953
売買益	529,257,581	1,769,993,648	8,425,840	1,119,285,812	28,120,608	34,730,203
売買損	△ 3,818,203	△ 5,715,518	△ 470,669,292	△ 5,695,281	△ 6,769,145	△ 43,270,156
(C)信託報酬等	△ 26,553,469	△ 30,086,413	△ 34,306,743	△ 34,750,172	△ 41,177,394	△ 34,304,175
(D)当期損益金(A+B+C)	499,120,398	1,734,434,639	△ 496,299,407	1,079,080,126	△ 19,452,832	△ 42,495,685
(E)前期繰越損益金	703,712,765	746,353,394	1,792,492,706	759,928,046	1,263,071,118	650,426,543
(分配準備積立金)	(703,712,765)	(746,353,394)	(1,792,492,706)	(1,249,799,368)	(1,263,071,118)	(669,556,060)
(繰越欠損金)	(-)	(-)	(-)	(△ 489,871,322)	(-)	(△ 19,129,517)
(F)追加信託差損益金*	2,273,311,183	2,582,412,131	2,991,317,044	3,257,639,752	3,421,181,209	3,538,478,667
(配当等相当額)	(4,558,336,241)	(5,000,917,540)	(5,627,005,361)	(6,094,775,536)	(6,392,739,070)	(6,611,559,439)
(売買損益相当額)	(△ 2,285,025,058)	(△ 2,418,505,409)	(△ 2,635,688,317)	(△ 2,837,135,784)	(△ 2,971,557,861)	(△ 3,073,080,772)
(G)合計(D+E+F)	3,476,144,346	5,063,200,164	4,287,510,343	5,096,647,924	4,664,799,495	4,146,409,525
(H)収益分配金	△ 448,249,666	△ 646,497,198	△ 526,293,486	△ 560,729,592	△ 582,198,628	△ 399,501,500
次期繰越損益金(G+H)	3,027,894,680	4,416,702,966	3,761,216,857	4,535,918,332	4,082,600,867	3,746,908,025
追加信託差損益金	2,273,311,183	2,582,412,131	2,991,317,044	3,257,639,752	3,421,181,209	3,538,478,667
(配当等相当額)	(4,558,587,657)	(5,001,272,126)	(5,627,322,201)	(6,095,219,489)	(6,393,038,337)	(6,611,761,279)
(売買損益相当額)	(△ 2,285,276,474)	(△ 2,418,859,995)	(△ 2,636,005,157)	(△ 2,837,579,737)	(△ 2,971,857,128)	(△ 3,073,282,612)
分配準備積立金	754,583,497	1,834,290,835	1,266,199,220	1,278,278,580	680,872,490	270,054,560
繰越欠損金	-	-	△ 496,299,407	-	△ 19,452,832	△ 61,625,202

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	第41期	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期
(a) 経費控除後の配当等収益	8,289,154円	6,642,919円	0円	11,281,858円	0円	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	490,831,244円	1,727,791,720円	0円	577,926,946円	0円	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	4,558,587,657円	5,001,272,126円	5,627,322,201円	6,095,219,489円	6,393,038,337円	6,611,761,279円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	703,712,765円	746,353,394円	1,792,492,706円	1,249,799,368円	1,263,071,118円	669,556,060円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	5,761,420,820円	7,482,060,159円	7,419,814,907円	7,934,227,661円	7,656,109,455円	7,281,317,339円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	3,855.95円	4,629.29円	4,229.47円	4,244.95円	3,945.10円	3,645.20円
(g) 分配金	448,249,666円	646,497,198円	526,293,486円	560,729,592円	582,198,628円	399,501,500円
(h) 分配金 (1万口当たり)	300円	400円	300円	300円	300円	200円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

運用者情報

■当社運用担当者情報について

・当社の運用担当者情報はHP上よりご確認ください。

■ニッセイ・メタバースワールド（予想分配金提示型）



<https://www.nam.co.jp/fundinfo/nmwy/main.html>

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式	
信 託 期 間	2022年3月31日～2032年8月10日	
運 用 方 針	ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式のなかから、「メタバース」に関連する事業を展開する企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。	
主要運用対象	ニッセイ・メタバースワールド（予想分配金提示型）	ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド受益証券
	ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド	日本を含む各国の株式
運用方法	ニッセイ・メタバースワールド（予想分配金提示型）	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

分 配 方 針	<p>毎月10日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、決算日の前営業日の基準価額に応じた分配をめざします。</p> <p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益および売買益等の全額とします。</p> <p>収益分配方針に基づき、原則として決算日の前営業日の基準価額（1万口当たり。支払い済みの分配金累計額は加算しません。）に応じて、以下の金額の分配をめざします。</p>	
	決算日の前営業日の基準価額	分配金額（1万口当たり、税引前）
	11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
	11,000円以上12,000円未満	200円
	12,000円以上13,000円未満	300円
	13,000円以上14,000円未満	400円
	14,000円以上	500円
	<ul style="list-style-type: none"> ・分配対象額が少額の場合、あるいは決算日の前営業日から決算日までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記とは異なる分配金額となる場合や分配金が支払われない場合があります。また、委託会社の判断により、分配を行わないことがあります。 ・基準価額の値上がりにより、該当する分配金テーブルが分配金の支払い準備のために用意していた資金を超える場合等には、テーブル通りの分配ができないことがあります。 ・基準価額に応じて、毎月の分配金額は変動します。基準価額があらかじめ決められた水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を継続するというものではありません。 ・分配を行うことにより基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次期決算以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。 <p>※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。</p> <p>※将来の分配金の支払いおよびその金額について、保証するものではありません。</p>	

ニッセイ・メタバースワールド マザーファンド

運用報告書

第 8 期

(計算期間：2025年8月13日～2026年2月10日)

運用方針	①主に日本を含む各国の株式等を主要投資対象とし、仮想現実関連技術を含むメタバース関連ビジネスを行う企業の株式に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。	主要運用対象	日本を含む各国の株式
	②仮想現実関連技術を含むメタバース関連ビジネスを行う企業のなかから、メタバース関連ビジネス拡大の恩恵を受け、今後、利益成長が期待できる銘柄に投資を行います。	運用方法	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

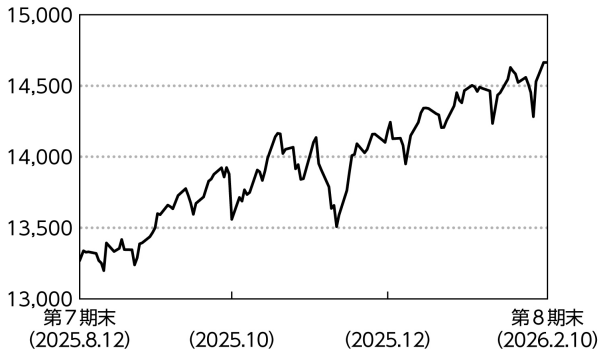
運用経過

2025年8月13日～2026年2月10日

投資環境

株式市況

【MSCIワールド・インデックス
(配当込み、米ドルベース)の推移】

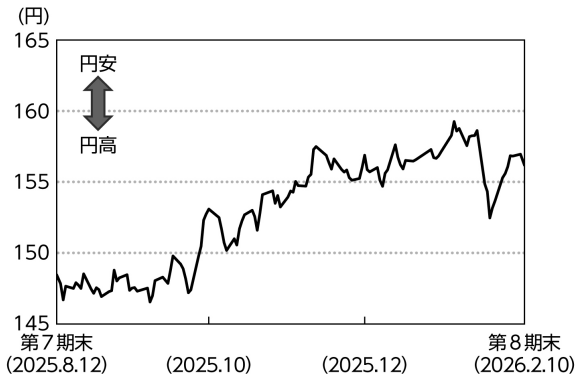


(注) FactSetのデータを使用しています。

株式市場は期を通じて見ると上昇しました。期初以降、株価の高値警戒感がくすぶりながらも、米国におけるインフレの落ち着きや利下げ再開と年内の継続的な追加利下げ観測の高まりが好感されたこと、米中首脳会談の実施を受け米中対立の激化懸念が後退したことなどから上昇する展開となりました。特に、AI関連銘柄の物色継続がけん引するかたちとなりました。その後、AI投資の過熱感と米利下げ観測を巡る見方で株価は揺れ動く場面があったものの、米国におけるインフレの落ち着きや消費者センチメント（市場心理）の低下などから米利下げ継続への期待感が高まったことや、米インターネット企業大手の最新生成AIモデルの公開に対する好意的な評価から持ち直す展開となりました。年明け以降は、トランプ米政権によるベネズエラへの軍事介入や、デンマーク自治領であるグリーンランドの領有権を巡る米欧対立など地政学リスクは上昇したものの、AI関連のインフラ需要などから銀や銅などの商品市況の上昇が続いたことに加え、AI関連の半導体企業による良好な業績発表も追い風となり株価は上昇基調となりました。

為替市況

【米ドル/円レートの推移】



(注) 対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

米ドル/円相場は、期を通じて見ると米ドル高円安となりました。

期初以降、レンジ圏での推移となりましたが、10月以降は高市新政権の拡張的な財政政策への警戒感や日銀が追加利上げを実施したものの金融引き締めには慎重な姿勢との見方などから、米ドル高円安基調が続きました。1月には日米協調による為替介入への警戒感から米ドル高円安に一時転じたものの、日本における衆議院解散総選挙での拡張的な財政政策が加速するとの懸念などから、再び米ドル高円安となりました。

基準価額等の推移



(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 8月下旬から10月上旬にかけて、米国での利下げ再開や人工知能（A I）・データセンター関連の巨額契約を受けて関連銘柄の株価が上昇したこと
- ・ 10月以降、日本の拡張的な財政政策への警戒感などから米ドル高円安となったこと
- ・ 11月下旬から12月上旬にかけて、A I技術をけん引する米半導体企業の良い業績発表や米インターネット企業大手の最新生成A Iモデルの公開に対する好意的な評価を受けて株価が上昇したこと
- ・ 12月下旬から1月下旬にかけて、米追加利下げ継続への期待感が高まったことや、半導体メモリーの価格上昇を受けた半導体関連銘柄への物色から株価が上昇したこと

<下落要因>

- ・ 8月中旬にA I技術をけん引する米半導体企業の業績発表が市場予想の範囲内であり、それまでの株価上昇で高値警戒感もあったことなどから関連銘柄の株価が下落したこと
- ・ 11月上旬から中旬にかけて、A Iへの過剰投資を巡る見方でハイテク株への高値警戒感が台頭したことや、米追加利下げ観測の一時後退を受けて株価が下落したこと
- ・ 12月中旬に米ソフトウェア大手の失望的な業績やA I関連での巨額投資へのリスクが嫌気されたことを受けて株価が下落したこと

ポートフォリオ

日本を含む各国の株式のなかから、「メタバース」に関連する事業を展開する企業の株式を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

当期末における業種配分は、組入比率の高い順に情報技術（71.3%）、コミュニケーション・サービス（19.5%）、一般消費財・サービス（3.2%）としています。

当期末における国・地域別配分は、組入比率の高い順にアメリカ（82.6%）、台湾（3.3%）、オランダ（2.4%）としています。

- (注1) メタバースとはメタ（meta：超越）とユニバース（universe：世界）を組み合わせた造語で、通信ネットワーク上に構築された仮想空間やそのサービスのことをさします。参加者はアバターと呼ばれる自分の分身を操作して、仮想空間内でさまざまな活動を行うことができます。
- (注2) 業種はGICS分類（セクター）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS & PおよびMSCI Inc.に帰属します。
- (注3) 比率は対純資産総額比です。
- (注4) 国・地域はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、日本を含む各国の株式のなかから、「メタバース」に関連する事業を展開する企業の株式を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

今後の運用方針

当マザーファンドは長期的な視点で、今後、大きな成長が期待される「メタバース」に関連する技術、コンテンツ展開力、市場アクセス等に強みを持つ企業へ投資を行っています。投資にあたっては「メタバース」関連の技術やコンテンツ等において企業として競争優位性を持っているかを分析したうえで、今後、中長期的な業績成長シナリオを達成できると見込まれる企業への投資を行っています。

「メタバース」はこれから成長する技術でもあり、多くの技術やコンテンツ等は比較的新しい中小の企業が持っていることも事実です。このため、当マザーファンドでは時価総額などで規模の小さい企業群への投資がやや多くなる傾向にあります。「今後、これらの中小規模の企業が大きく業績成長することを期待して投資を行っている」とご理解いただけますと幸いです。銘柄選別にあたっては「メタバース」をキーワードとした業績成長シナリオを想定しており、経営陣が確かな執行能力を持つと思われる企業の中から、長期的な成長力を重視して選択しています。同時に株価バリュエーション（企業の利益・資産など、本来の企業価値と比較して、相対的な株価の割高・割安を判断する指標）を考慮し、相対的にバリュエーションが高すぎる銘柄を排除するなど、慎重な銘柄選択を実施しています。今後も、「メタバース」をキーワードに長期的な成長を達成し、同時に企業価値を向上することができる銘柄への投資を進めていきたいと考えています。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中	株式 組入比率	純資産 総額
		騰落率		
	円	%	%	百万円
4期(2024年2月13日)	13,888	30.8	96.3	10,692
5期(2024年8月13日)	14,394	3.6	91.6	16,884
6期(2025年2月10日)	17,142	19.1	93.2	23,045
7期(2025年8月12日)	19,243	12.3	96.5	24,848
8期(2026年2月10日)	22,418	16.5	95.6	32,000

(注) 株式組入比率には新株予約権証券を含みます。以下同じです。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	株式 組入比率
	円	%	%
(期首)2025年8月12日	19,243	—	96.5
8月末	19,338	0.5	95.0
9月末	20,663	7.4	95.4
10月末	22,190	15.3	92.7
11月末	21,694	12.7	91.1
12月末	21,948	14.1	94.6
2026年1月末	22,353	16.2	95.1
(期末)2026年2月10日	22,418	16.5	95.6

(注) 騰落率は期首比です。

1万口当たりの費用明細

2025年8月13日～2026年2月10日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料 (株式)	1円 (1)	0.004% (0.004)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税 (株式)	0 (0)	0.001 (0.001)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用 (保管費用)	1 (1)	0.006 (0.006)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
合計	2	0.011	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（21,163円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2025年8月13日～2026年2月10日

株式

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
国内	上場	千株	千円	千株	千円
		5 (27)	36,052	27	4,244
外国	アメリカ	百株	千米ドル	百株	千米ドル
		1,740	18,520	114	4,478
	香港		千香港ドル		千香港ドル
		466	4,290	—	—
	ユーロ オランダ フランス		千ユーロ		千ユーロ
	3	344	—	—	
	65	351	—	—	

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) () 内は株式分割、合併などによる増減分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 地域は発行通貨によって区分しています。以下同じです。

(注4) 株数および金額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2025年8月13日～2026年2月10日

株式

銘柄	買付			売付			
	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
META PLATFORMS INC-A	2	249,687	104,954	MICROSOFT CORP	6	412,074	64,761
NVIDIA CORP	8	225,364	27,540	BROADCOM INC	5	273,905	53,717
ARISTA NETWORKS INC	8	169,797	20,727	ソニーフィナンシャルグループ	27	4,244	157
ROBLOX CORP -CLASS A	9	159,974	16,259	—	—	—	—
BROADCOM INC	2	141,279	52,094				
CIENA CORP	4	132,588	28,936				
APPLIED MATERIALS INC	3	116,451	35,798				
ALPHABET INC-CL A	2	112,176	44,338				
MICROSOFT CORP	1	110,837	76,916				
ADVANCED MICRO DEVICES INC	3	99,590	31,868				

(注1) 金額は受渡代金で、外国株式は各月末（決算日の属する月については決算日）における国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注2) 株数および金額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

組入有価証券明細表

2026年2月10日現在

(1) 国内株式
上場株式

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	株数	株数	評価額
	千株	千株	千円
電気機器(43.6%)			
ソニーグループ	26	29	104,308
その他製品(56.4%)			
任天堂	13	15	134,843
合計	株数・金額	39	44
	銘柄数<比率>	2	2
			<0.7%>

(注1) 銘柄欄の()内は、当期末における国内株式の評価総額に対する各業種の比率です。

(注2) 合計欄の< >内は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 株数および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および評価額が単位未満の場合は、小数で記載していません。以下同じです。

(2) 外国株式

銘柄	期首(前期末)	当期末			業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
ADOBE INC	55	62	1,660	259,260	ソフトウェア・サービス
ADVANCED MICRO DEVICES INC	246	278	6,007	938,140	半導体・半導体製造装置
AKAMAI TECHNOLOGIES INC	184	207	1,967	307,327	ソフトウェア・サービス
ALPHABET INC-CL A	199	225	7,300	1,140,160	メディア・娯楽
AMAZON.COM INC	152	171	3,575	558,398	一般消費財・サービス流通・小売り
APPLE INC	158	178	4,894	764,339	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
APPLIED MATERIALS INC	256	289	9,570	1,494,547	半導体・半導体製造装置
ARISTA NETWORKS INC	647	729	10,333	1,613,835	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
AUTODESK INC	133	150	3,660	571,661	ソフトウェア・サービス
BENTLEY SYSTEMS INC-CLASS B	510	575	1,982	309,537	ソフトウェア・サービス
BROADCOM INC	504	480	16,543	2,583,546	半導体・半導体製造装置
CADENCE DESIGN SYSTEMS INC	141	159	4,652	726,536	ソフトウェア・サービス
CIENA CORP	361	407	11,811	1,844,633	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ELECTRONIC ARTS INC	177	200	4,021	628,024	メディア・娯楽
IMMERSION CORPORATION	5,260	5,926	3,905	609,976	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
MARVELL TECHNOLOGY INC	311	350	2,887	450,995	半導体・半導体製造装置
META PLATFORMS INC-A	187	211	14,340	2,239,498	メディア・娯楽
MICROSOFT CORP	113	64	2,675	417,909	ソフトウェア・サービス
NVIDIA CORP	843	924	17,575	2,744,820	半導体・半導体製造装置

ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド

銘柄	期首(前期末)	当期末			業種等		
		株数	株数	評価額			
				外貨建金額		邦貨換算金額	
(アメリカ)		百株	百株	千米ドル	千円		
QUALCOMM INC		276	311	4,331	676,416	半導体・半導体製造装置	
ROBLOX CORP -CLASS A		777	875	6,430	1,004,270	メディア・娯楽	
SAMSUNG ELECTRONICS-GDR 144A		11	12	3,621	565,600	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
SEA LTD-ADR		170	192	2,092	326,837	一般消費財・サービス流通・小売り	
SKYWORKS SOLUTIONS INC		298	336	2,072	323,692	半導体・半導体製造装置	
SNAP INC - A		657	740	384	60,007	メディア・娯楽	
SYNOPSIS INC		69	78	3,440	537,308	ソフトウェア・サービス	
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR		169	191	6,805	1,062,853	半導体・半導体製造装置	
TAKE-TWO INTERACTIVE SOFTWARE		146	164	3,377	527,489	メディア・娯楽	
TERADYNE INC		296	333	10,350	1,616,406	半導体・半導体製造装置	
TEXAS INSTRUMENTS INC		156	176	3,856	602,266	半導体・半導体製造装置	
UNITY SOFTWARE INC		359	405	1,116	174,360	ソフトウェア・サービス	
WALT DISNEY CO		162	183	1,961	306,318	メディア・娯楽	
ZOOM VIDEO COMMUNICATIONS-A		235	265	2,532	395,442	ソフトウェア・サービス	
小計		株数・金額 銘柄数<比率>	14,237 33	15,863 33	181,740 -	28,382,422 <88.7%>	
(香港)				千香港ドル			
ALIBABA GROUP HOLDING LTD		354	398	6,284	125,562	一般消費財・サービス流通・小売り	
BAIDU INC-CLASS A		251	283	4,024	80,404	メディア・娯楽	
MEITUAN-B		11	11	102	2,055	消費者サービス	
NETEASE INC		297	334	6,389	127,660	メディア・娯楽	
TENCENT HOLDINGS LTD		98	111	6,216	124,195	メディア・娯楽	
XIAOMI CORP-CLASS B		2,718	3,058	10,764	215,067	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
小計		株数・金額 銘柄数<比率>	3,729 6	4,195 6	33,781 -	674,947 <2.1%>	
(ユーロ/オランダ)				千ユーロ			
ASML HOLDING NV		30	34	4,198	780,291	半導体・半導体製造装置	
小計		株数・金額 銘柄数<比率>	30 1	34 1	4,198 -	780,291 <2.4%>	
(ユーロ/フランス)							
DASSAULT SYSTEMES SA		461	519	1,164	216,328	ソフトウェア・サービス	
ESSILORLUXOTTICA		53	60	1,546	287,332	ヘルスケア機器・サービス	
小計		株数・金額 銘柄数<比率>	514 2	580 2	2,710 -	503,660 <1.6%>	
ユーロ計		株数・金額 銘柄数<比率>	545 3	615 3	6,908 -	1,283,951 <4.0%>	
合計		株数・金額 銘柄数<比率>	18,512 42	20,674 42	- -	30,341,322 <94.8%>	

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額の< >内は、当期末の純資産総額に対する株式評価額の比率です。

(注3) 業種はGICS分類(産業グループ)によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS & PおよびMSCI Inc.に帰属します。

投資信託財産の構成

2026年2月10日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	30,580,473	93.1
コール・ローン等、その他	2,257,185	6.9
投資信託財産総額	32,837,658	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお2月10日における邦貨換算レートは、1米ドル156.17円、1香港ドル19.98円、1ユーロ185.84円です。

(注2) 外貨建純資産(31,317,941千円)の投資信託財産総額(32,837,658千円)に対する比率は95.4%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2026年2月10日現在)

項目	当期末
(A)資産	32,837,658,584円
コール・ローン等	2,252,135,097
株式(評価額)	30,580,473,110
未収配当金	5,050,377
(B)負債	836,931,158
未払解約金	836,931,158
(C)純資産総額(A-B)	32,000,727,426
元本	14,274,569,424
次期繰越損益金	17,726,158,002
(D)受益権総口数	14,274,569,424口
1万口当たり基準価額(C/D)	22,418円

(注1) 期首元本額 12,913,493,459円
 期中追加設定元本額 5,178,356,849円
 期中一部解約元本額 3,817,280,884円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

ニッセイ・メタバースワールド(資産成長型) 4,161,161,613円
 ニッセイ・メタバースワールド(予想配当金提示型) 10,113,407,811円

損益の状況

当期(2025年8月13日~2026年2月10日)

項目	当期
(A)配当等収益	71,571,319円
受取配当金	64,892,958
受取利息	6,678,361
(B)有価証券売買損益	4,231,148,532
売益	6,786,359,345
売損	△ 2,555,210,813
(C)信託報酬等	△ 1,725,717
(D)当期損益金(A+B+C)	4,300,994,134
(E)前期繰越損益金	11,935,408,787
(F)追加信託差損益金	5,803,220,620
(G)解約差損益金	△ 4,313,465,539
(H)合計(D+E+F+G)	17,726,158,002
次期繰越損益金(H)	17,726,158,002

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (F)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

(注3) (G)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。